教材・支援機器活用実践事例

平仮名の読み書きに困難さのある児童が、発音や字形に親しみながら平仮名を習得するための支援 「平仮名カード」「連絡カード」

子どもに	所属・学年	平1以石ノノート」 建裕ノノート」 小学校・特別支援学級(知的障がい)・1 学年	
ついて	障がい名等	知的障がい	
	子どもの実態	○ 自分の思いを友達や教師に進んで話そうとする。一方で、発音の不明瞭さや、	
	(学習上又は生	平仮名の読み方、言い表し方が分からないことから、相手に伝わらないことが	
	活上の困難さ等)	ある。	
		○ 教科書や絵本、掲示等の平仮名を、挿絵や知っている文字を手がかりにして	
		読もうとする。字形の似ている文字を区別することが難しい。	
		○ 名前や文を書く際には、なぞり書きか写し書きかを選択して丁寧に書いてい	
		る。	
授業に	教科名等	国語科	
ついて	単元(題材)名	「じをかこう」から「あひるのあくび」までの10単元(東京書籍)	
(教材・教具を	単元(題材)の概要	○ 国語科の授業で、平仮名の読み書きに取り組む。	
使用した授業		①言葉集めをする。②頬や腹に手を当て、音の長さや強弱を変えて平仮名を音する。③空書きをする。④字形・筆順クイズをする。⑤平仮名を書く。	
や指導場面)			
		○ 朝の時間・・・氏名、日付、曜日、時間割を連絡カードに書く。	
教材・教具・	教材・教具	【平仮名カード】	 【連絡カード】
支援機器に	• 支援機器	授業の板書を元にカードを作成し、	氏名、日付、時間割を書く。
ついて		フラッシュカードとして使用した。	244/ E11/.4MH1G E /0
		大される。 (ま) (よ) (よ) (よ) (よ) (よ) (よ) (よ) (よ) (よ) (よ	かう こち ふうび かくしゃうしたこと 1 3つい かくしゃうしたこと 1 3つい 1 3つ
	ねらい・工夫点等 〇 平仮名の学習を行う際に活用することにより、文字を身近な物の		:身近な物の名前と結び
		つけて読んだり覚えたりすることができるようにする。○ 字形クイズを通して、画の長さや「とめ」「はらい」「むすび」に着目できるようにする。	
	○ 学習内容をカードにして掲示・蓄積していくことにより、復習を		より、復習をする際や文
		字や言葉の書き表し方を調べる際に使用することができるようにする。	
	材料•作成方法等	○ 平仮名の拡大図(「ぷりんときっず」HP 平仮名練	習プリントより)
		○ 授業の中で集めた言葉をカードに載せ、イラストをネ	添える。
		○ 授業の中で教師が出題した字形クイズ(とめはねや)	結びなど)を書く。
子どもの変容や評価		○ 同じ学習の進め方を毎時間繰り返すことで、学習の見通しをもって学習に取	
		り組むことができた。休み時間に自分たちで言葉集めを行う姿が見られた。	
		○ 強弱や長さを変えて平仮名を発音することで、楽しみながら口の動かし方を	
		確認することができた。また、毎時間続けていくことで、発音に気を付けてゆ	
		っくりと話す姿が見られるようになった。	
		○ カードを繰り返し使用することで、授業の様子を思い浮かべながら読み方を	
		練習することができた。	
			(人和二年中)